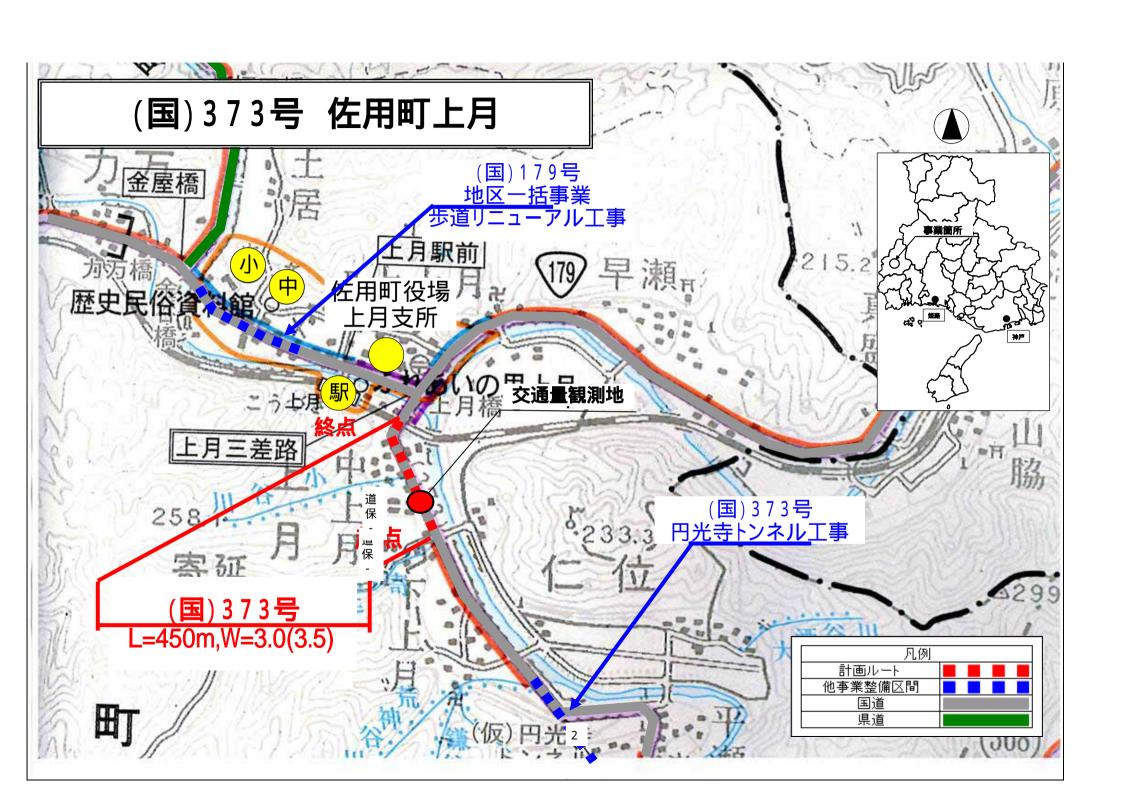
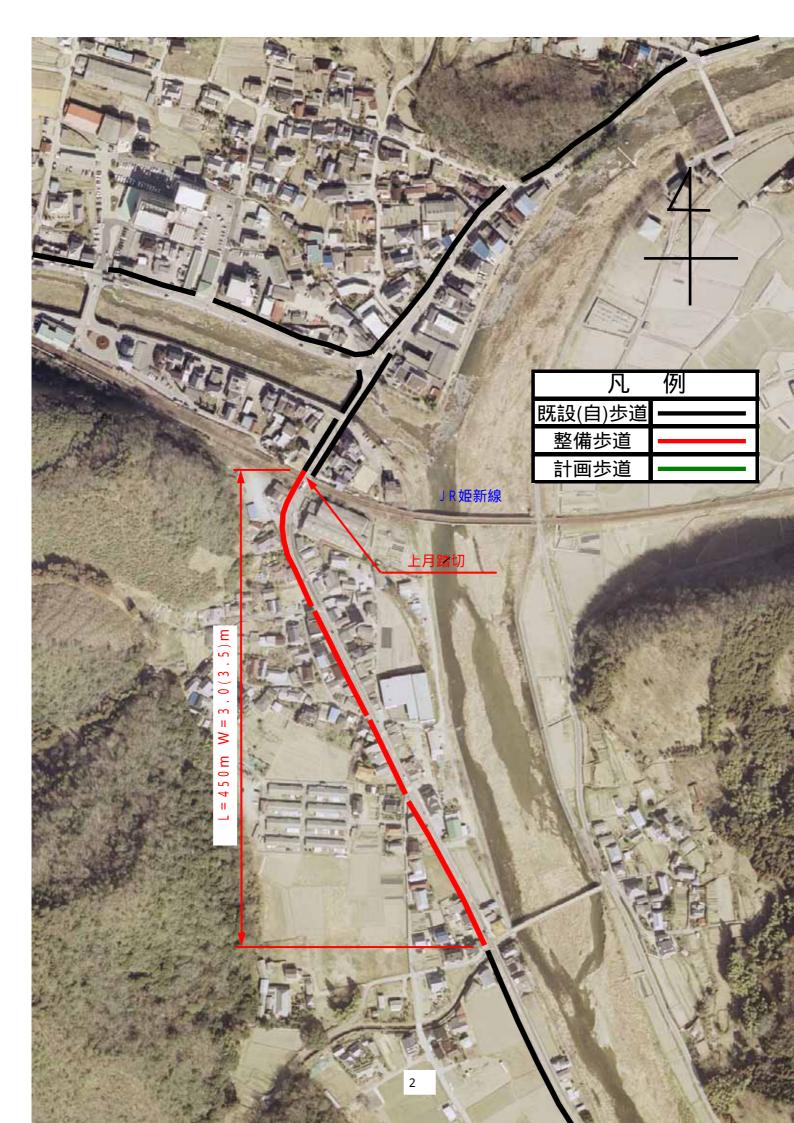
投資事業評価調書(新規)

課室名 道路保全課 記入責任者職氏名 道路保全課長 國塚 康平 内線 4389 (担当者氏名) (中島 勉) 内線 (4401)

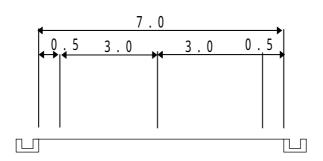
| | | | (担当 | <u> 者比名)</u> | (円 | 島 勉) | (| 4401) |
|---|------|----------------------------------|---|---|--|---|-------------------|-------------------------------|
| | | | | | | | | |
| 事業種目 | 交通安全 | 特定交通安全施設等整備事業 <mark>佐用郡佐用</mark> | | | 区間 総事業費 町中上月 | | 約9.0億円 | |
| | 施設整備 | (国) |) 3 7 3号 | <u> </u> | | | うち用地補償費 | 約6.5億円 |
| 所 在 地 | | | | | | | 着工予定年度 | 完成予定年度 |
| 佐用郡佐用町中上月 | | | | | | | 平成20年度 | 平成24年度 |
| 事業目的 | | | | | | 事業内容 | | |
| 交通安全対策 ・ 小中学校の通学路であり、自転車利用者、歩行者交通 量が多く人と車の輻輳による危険性の高い当路線に おいて、歩道の整備を行い、歩車分離を図ることで交 通安全対策を推進する。 | | | | | | 歩道整備(片側)、踏切改良 L = 4 5 0 m W = 3 . 0 m(3 . 5) m | | |
| 踏切すっきりプランの推進(緊急踏切対策) ・ 交通障害となっている踏切内に歩道を新設し、自動車 と歩行者等との接触防止など、円滑で安全な通行を確 | | | | | | | | |
| 保する | 0 | 当かに回め土メン 引に こうか 土で高点ない | | | | 副合 国0.55 | 県0.45) | |
| 評価視点 | | | | | | | | |
| (1)必要性 安全・安心 ・当区間は福祉のまちづくり重点地区(上月地区)に隣接するアクセス道路であり、バリアフリーに配慮した歩道整備が必要とされる区間である。・近隣の福祉のまちづくり重点地区内は旧上月町の中心市街となっており、JR上月駅を中心として、役場支所、学校、ほたるドーム(体育館)、ふれあいの里上月(地元名産店)等が立地しており当区間はこれらの施設へのアクセス道路として多様な交通環境にある。・上月小学校、上月中学校の通学路に指定されている。・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。(歩行者77人/12hr、自転車276台/12hr、自動車5,444台/日)・大型車混入率17.4%で、町内では最も混入率が高い。・起点側及び終点側の歩道は、整備済みであり、当該区間のみが未整備。・既設歩道が無く、通学する児童生徒が非常に危険な状況にある。・上月踏切には歩道がなく、歩行者の滞留や横断時における自動車と歩行者との錯綜が見られ、自動車交通も多いことから踏切すっきりプラン及び国の緊急対策踏切に位置付けられている。・住民参加による交通安全総点検実施地区内の事業であり、地元要望も強い。 | | | | | | | | |
| (2)有効性 | ・効率性 | | | | | 投資効果が期]体制等事業執 | 月待できる。 丸行環境が整っ | ている。 |
| (3)環境適 | 合性 | る。 | | | | | 8交通環境の改 | |
| (4)優先性 | | くっ当児ま路この | を見対策がある。 を見りははいいでは、 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 と | 必要な速効 にも位置付 学校の通学 常に危険が は」R 姫新 踏切改良を | 対策踏切に けられてい 路によっ まり より より とし で も で も と に も で も り に も り 、 り こ り こ り こ り こ り こ り こ り こ り に り に り に | 位置づけられる。 れているが、 整備によるが 数はされている より連絡機能 | いる。同様 歩道が未整備 | で、通学する である。 少ない連絡道 。 |

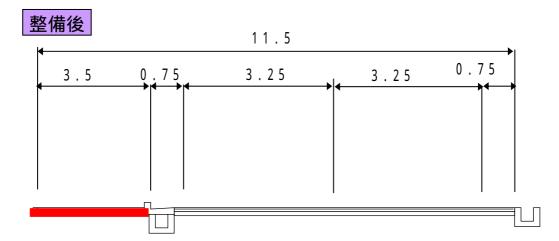




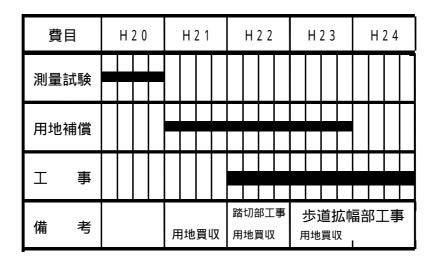
標準断面図

整備前





事業スケジュール



通学状況写真





通学状況写真





現況写真(起終点部既設状況)



